

4

「収穫し、お届けする」

—— 広げよう！農の恵みをどこまでも

大津の地ではぐくまれた農産物をたくさんの人に届けるため、大津市公設地方卸売市場への安定的な出荷を実現すると同時に、生産地と消費地が近い大津市の立地を活かし、直売所や市内の飲食店などを通じた地産地消を強力に進めます。

また、「指定棚田地域」で栽培された農産物のPRを企画するなど付加価値を高める取り組みを行います。

さらに「おおつ近江米カレー」を例とした取り組みを進め、大津市産農産物がより市民のみなさんの手に届き、大津の恵みを味わってもらえるよう取り組みます。

基本施策



- ①. 卸売市場への安定的な出荷を行います
- ②. 市場以外のさまざまな流通に取り組みます
- ③. 地産地消を進め、安全安心な農産物を届けます
- ④. 大津市産農産物についてさらにPRします

大津市のチャレンジ！

- 大津市産農産物の流通量を増やします！

【JA直売所及び卸売市場への大津市産青果物の出荷額】

| 現 状 | 目 標 | | |
|--------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 2015年 2億7,740万円 | 2021年(1期) 2億8,268万円 | 2025年(2期) 2億8,708万円 | 2029年(3期) 2億8,928万円 |

市民のみなさんも参加しよう！

- 市内で開かれている朝市・マルシェや農産物直売所に行こう！※
- 量販店や道の駅などで、大津市産の農産物を探そう！

※市内の農産物直売所や朝市についての情報は大津市のウェブサイトに掲載しています。

■ 具体的取り組み（これらの取り組みは関係機関と協議の上、優先順位をつけて取り組みます。）

| 基本施策 | 具体的取り組み | 実施期間 | | | 備考 |
|-------------------------|--|------|-----|-----|--------|
| | | 第1期 | 第2期 | 第3期 | |
| 1.卸売市場への安定的な出荷を行います | ①市場関係者やJ Aと連携して、現在の集出荷状況について評価を行い、改善点を検討します。 | → | → | → | |
| | ②J Aや市場関係者、加工業者と話し合いの場を設け、業務用需要に対応するため、品種や規格、時期を明らかにします。 | | → | → | |
| | ③市場関係者やJ Aと連携して、「華麗なる大津野菜」の出荷体制を構築します。 | | → | → | |
| 2.市場以外のさまざまな流通に取り組みます | ①J Aと連携し市内の直売所や道の駅、サービスエリアに向けた少量多品種タイプの集荷体制を構築します。 | → | → | → | |
| | ②J Aと連携し市内の量販店や市内のコンビニ向けの集荷体制を計画し、大津市産農産物の取り扱い店舗・コーナーを増やします。 | → | → | → | |
| | ③市内の生産者やその農産物を紹介するウェブサイトなどを通じて、市内外の料理人や商工業者と市内の生産者をマッチングします。 | → | → | → | 再掲 |
| 3.地産地消を進め、安全安心な農産物を届けます | ①環境保全型農業(オーガニック農産物や環境こだわり農産物を生産する農業など)について説明会を開催し、市内生産者の理解を深めます。 | → | → | → | 新設(再掲) |
| | ②環境保全型農業(オーガニック農産物や環境こだわり農産物を生産する農業など)について研究し、市内で取り組む生産者の活動や農産物についてウェブサイトなどで積極的に情報発信します。 | → | → | → | 新設(再掲) |
| | ③生産者同士の勉強会や技術指導を通じて、オーガニック農産物や環境こだわり農産物の生産面積を増やします。 | → | → | → | 再掲 |
| | ④「華麗なる大津野菜」を主な対象として、生産履歴の記録に取り組みます。 | | → | → | |
| | ⑤J Aと連携し市内の直売所や道の駅、サービスエリアに向けた少量多品種タイプの集荷体制を構築します。 | → | → | → | 再掲 |
| | ⑥大津市産農産物をつかった朝市やマルシェなどの情報を発信します。 | → | → | → | |
| | ⑦市内にある社員食堂や宿泊施設での大津市産農産物の利用拡大に向けて、市全域での取り組みを行います。 | → | → | → | |
| 4.大津市産農産物についてさらにPRします | ①いつでもどこでも大津市産農産物が生産されているかをウェブサイトやパンフレットなどにまとめ、販売店舗なども連携して発信をします。 | | → | → | |
| | ②市内の直売所や飲食店など、大津市産農産物を取り扱っている場所を地図にして、ウェブサイトやパンフレットを通じて発信します。 | | → | → | |
| | ③市内で開催される催し・イベントに大津市産農産物をPRする企画をします。 | → | → | → | |
| | ④棚田地域振興法による「指定棚田地域」で栽培された農産物のPRを企画するなど付加価値を高める取り組みを行います。 | | → | → | 新設 |

コラム 大津の名物「おおつ近江米カレー」

大津市は地元の飲食店と連携し、地元野菜や伝統料理を組み合わせ、コシヒカリ・みずかがみ・キヌヒカリなどの近江米を美味しく味わうご当地カレー「おおつ近江米カレー」を開発しました。①県産の近江米を使用すること②アレンジで二度異なる味を楽しめることの2つのルールで、平成27年度(2015年度)から大津市内のホテルや飲食店で独自のカレーが提供されています。

平成28年(2016)8月には「大津カレーマルシェ」が開催されました。

